そのほか

昨年より 6,000 発増やし、打ち上げ数 20,800 発と いう関東最大級の利根川大花火大会を開催。観覧者 数は昨年の2倍となる約27万人となり、境町人口 の10倍以上の人々が花火大会を楽しみました。



ふるさと納税利用者 500 名を無料招待するバスツ アーを実施。境町を初訪 問の方が多く、参加者か らは「とても感動した」 「職員の対応が最高」とい う声が寄せられました。

成田空港行き高速バス停留所 「境古河バスターミナル」を開所



平成 29 年 11 月より、約 1 時間 20 分ノンストップで成田空 港へ向かう高速バスが運行開始。無料駐車場82台を完備。町 内をはじめ、県西地域から成田空港へのアクセスの選択肢が 増え、運行開始から好評です。



17年ぶりに購入! 最新の 消防車両を第9分団に配備



第9分団に配備しました。最新の消防車両が配備 と納税の返礼品として活用し農家を支援する事業 号を開催し、被災しながらも復興に向け事業を継続 され、町を守る防災力を強化します。

さかい芸術祭各種イベントを開催

米農家応援事業「コメ買い取り ます事業」を実施



町として 17 年ぶりの買い替えとなる消防車両を 米農家の方から玄米を 1 万円で買い取り、ふるさ 熊本地震の継続的な復興支援の一つとして、境町民 を3年連続で実施しています。

熊本地震復興支援! 町民号で熊本県を訪問



している企業などを訪問しました。

農業支援事業を実施! 人材育 成・実践講座等を定期的に開催



境町で行われ満員の来場者で盛り上がりました。 講座や講演会等を開催しています。

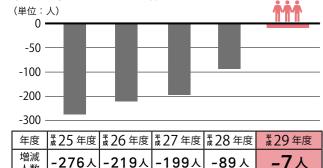
災害時の避難所となる 全小学校へ防災備蓄倉庫を増設



ライバシー確保にも繋がると期待されています。

さかい芸術祭の一環として国際アカペラチャンピオ 平成 29 年 3 月、株式会社舞台ファームと農業分 避難所となる町内全小学校に、トイレとしても使用 ンのウーマン・オブ・ザ・ワールドのコンサートが 野における包括連携協定を締結し、定期的に実践 できる防災備蓄倉庫を整備。トイレ不足の解消とプ

境町の年度ごとの人口増減



平成 29 年 12 月 20 日現在

境町の人口減少に 下げ止まり傾向

ふるさと納税を活用した様々な 取り組みの効果で人口減少にも 変化が出ています。10月末は+ 13人に人口が増えましたが、現 在-7人で推移しています。





主な寄付活用事例

ふるさと納税では、寄付者が寄付金の活用先を選ぶ ことができます。境町では、教育・住民福祉・都市 基盤・農業振興・災害復旧の5つの活用先を掲示 しています。活用先の希望がない寄付に関しては、 町長が町の優先課題を踏まえ、活用しています。

子育て支援

町内全小中学校にタブレット 導入 wi-fi 環境も整備!



町内小中学校のパソコン教室のシステム老朽化 に伴い、タブレット型パソコンへの入れ替えと Wi-Fi 環境を強化し、ICT 授業を推進しています。



2 年連続!境町の小学生を

アルゼンチンへ派遣

昨年はアルゼンチンと友好関係が続く長田小児童 を、今年は町内全小学校の代表児童を派遣。豊か



な国際感覚を持った青少年の育成に役立てます。



医療費助成制度(マル境)の対象年齢を20歳(19 歳~20歳は学生に限る)まで拡充しました。茨城 県内で境町のみの取り組みです。

静小学校にウォシュレット付き 洋式トイレを設置



階の各階、女子用2カ所、男子用1カ所にウォシュ レット付きの洋式トイレを設置しました。

学校給食費が第1子・第2子 第3子以降は無料!



和式トイレしかなかった静小学校に、1階から3 同時期に第1子、第2子が小・中学校に在学して いる場合に限り、給食費が半額、第3子以降は無 料になるよう助成しています。

高額の為買い替えられなかった 境一中吹奏楽部の楽器 4 台購入



20年以上使用し、経年劣化のため音が出にくくなってい た、バリトンサックス、ソプラノサックス、グロッケンシュ ピール、フレンチホルンの4台の楽器を購入しました。

いきいき支援

65歳以上の方1,000名に



卒中の予防に効果のある「葉酸サプリ」を無料 で1年分配布するプロジェクトを実施。

境町いきいき福祉大会に実力派 演歌歌手を迎え盛大に開催



境町在住の 65 歳以上の方 1,000 名に認知症や脳 敬老の日を記念し、65 歳以上の町民の皆さんに 元気を届けようと、いきいき福祉大会に細川たか しさん、杜このみさんを迎え盛大に開催しました。

小・中学校でフィリピン人 英語講師による英語教育を実施



フィリピン共和国から英語講師を招き、境小をモ デル校とし先進的な英語教育を導入しています。 小学校1年生から日常的に英語に触れる環境を整 えることで英語への苦手意識をなくし、小・中学 校9年間を通して、英語力の基礎を養い、グロー バル社会で活躍できる人材を育成します。平成 30年度は全小・中学校で実施予定です。

5 Sakai town news

Sakai town news 4